



汚泥再生処理センター



汚泥再生処理センターで製造している「とちみのり」

Q 汚泥再生処理センターで製造している「とちみのり」が販売を再開。販売状況や安全性を含め販売拡大への取り組みはどうなっているのか。

A 令和4年10月24日に販売を再開し、12月1日現在45袋、675kgを販売。成分分析検査を行い、有害成分の基準値をクリアしている。「とちみのり」のメリットを周知することで販売促進に努めていく。

汚泥肥料の販売拡大に向けた取り組みについて

ムへの通室を案内している。また、市では支援員やスクールソーシャルワーカーを雇用し、教職員と共に生徒からの相談に応じたり、児童生徒や保護者の悩みに寄り添い、解決のための方向性を示したり、必要な関係機関につないだりしている。

生徒の髪型に関する校則や指導について

Q ツープロックなどのヘアスタイルを禁止する校則や教員による指導を見直してはどうか。

A 市内中学校で、校則の中でツープロックを明記して禁止しているのは2校である。極端な髪型の例示としての記載であっても、書いてあることで全て禁止と誤解を招く可能性もあることから、学校に対してその記載が必要であるか否かを改めて検討するよう伝える。



ツープロックの髪型

西村邦明議員の質問

いつ値上げされるか水道料金（人口減少時代による弊害と対策）

Q 三条市の人口は10年後には1万人余りも減少する。水道利用者の減少は収入悪化を招き、水道経営健

全化を阻害する。水道料金の値上げの時期、値上げ幅は検討しているのか。

A 現時点では経常経営の削減により想定を上回る経営状況だが、将来的には見直しが必要である。令和8年度に三条市水道事業ビジョンを策定予定であり、令和10年度三条地域水道用水供給企業団から必要水量の全量受水が可能になり、企業団の料金改定が予定されていることから検討を考えている。

人口減少の対策は。

A 転出の抑制、転入の促進、働く場、生活の場の魅力、子育て、教育環境の向上を大切に位置付け、中長期的に出生数の改善に寄与すると考えている。

Uターン促進の取り組みは。

A 移住者数は令和2年度29人、令和3年度75人に増加した。

原子力防災訓練について

Q なぜ原子力防災訓練が行われないのか。（事故は必ず起きる）

A 広域的な原子力防災訓練は県が主体となって計画される。その内容により、三条市への参加要請に応じて検討していきたいと考えている。

「パーク・アンド・ライド」駐車場を設置することに

Q 市民のために三条燕インター周辺に高速バス利用者向けの駐車場を設置してはどうか。

A 適地が見つかっていないことから、現時点では新規の駐車場設置は難しい。

小林誠議員の質問

特養ホームの増床を

Q 特養ホームの入所希望者は3年ごとの調査で待機者が増加している。今年の調査で各施設の待機者合計は1210人、重複を除いた待機者数は293人だった。4割は自宅待機している。特養ホームの増床が必要ではないか。

A 特養ホームの整備は、令和5年度に地域密着型の29床の施設を整備運営する法人の公募を行い、令和6年度から事業開始する。

次期介護保険計画について

Q 令和6年度から始まる国の次期介護保険計画の提言は関係者から批判が相次いでいる。利用者負担の

白鳥賢議員の質問

小中学校体育館の空調について

Q 昨今の夏場の高温に伴い、文部科学省でも全国の小中学校体育館の空調整備を促し、補助金も用意している。三条市でも小中学校PTAや自治会の要望で、災害時避難所にもなる体育館へのエアコン設置が要望されているが認識を伺う。

A 空調整備の補助金は、断熱性のある体育館だけに対応しており、利用できないので大型扇風機の導入を検討している。熱中症予防に高温時に体育館の使用を禁止するなどの対応もしている。



体育館に設置された空調設備

アニメDo it Your self!!について

Q 民間投資が呼び込んだ貴重なコ

原則1割を2割に。要介護1、2の生活援助を市町村の総合事業へ移行するなど、利用者負担が増大する。受け止めはどうか。

A 要介護1、2の生活援助サービスが総合事業へ移行することの影響は少なからずあると考える。次期事業計画の策定では丁寧な事業所への聞き取りを行う。

下田総合体育館の大規模改修を

Q 下田総合体育館は下田連合青年団など多くの村民運動の中で、昭和55年に完成した。大規模改修が必要だ。

A 現時点で大規模改修を行う予定はない。予算の範囲内で必要な修繕を行っている。トイレなど水回りも来年度以降、経費を考慮しつつ改修を進める。



下田村連合青年団記念誌に掲載された体育館建設運動の記事

ンテツ。今後どのように施策を打つか、市民にお願いすることがあるのか伺う。

A 作中に登場する施設や街並みを利用したイベント、DIY自体を楽しめる仕掛け等を検討中。市民の皆さんには作品を見て愛着を持っていただき、今後の取り組みにご参加いただきたい。

三条市未来経済協創タスクフォース進展について

Q タスクフォース会議が終了したタイミングだが、経済ビジョン策定の進捗を伺う。

A 市内企業の生産性や付加価値の向上について議論され、課題が共有された。雇用競争力についても明確な戦略プランが描かれている。今後周知浸透を図り機運を醸成していく。

燕幸男議員の質問

三条市における不登校の児童生徒への支援等について

Q 不登校の要因と児童生徒に対してどのような支援を行っているのか。

A 要因として「無気力と不安」が一番多い。支援については、教室以外の別室登校や適応指導教室ふれあいルー

長橋一弘議員の質問

三条市総合計画（総合戦略）について。若年層の転出抑制と転入促進

- ① 三条市立大学
- ② 医療系高等教育機関

Q 高等教育機関は三条市が直接費だけで大学に80億円、医療系高等教育機関に30億円投資したが、当初の目的と目標の達成状況はどうか。

A 令和4年3月は医療事務の卒業生を送り出したが、三条への就職は目標未達であった。

Q 市内からの入学者構成比の目標が40%とのことだが実績は。

A 17.5%と20%を割る状況であった。

Q 卒業生のうち市内への就職者数目標を入学時点の市内入学者以上と目標設定であるが。

A 令和5年3月は看護と歯科衛生士の卒業。令和6年3月は大学の卒業生を送り出す。目標に近づくよう努力したい。

Q 三条市総合計画の協議会メンバーに三条の財務状況を説明しているのか。

A 問い合わせがあれば答えている。